

台湾労働人権協会からのメッセージ

私たち労働人権協会は AWC の一員であり、反帝・反新自由主義の一貫した立場にもとづき、G7 サミットに反対するデモンストレーションを熱烈に支持します。

私たちは G7 サミットが対テロの名で推進しようとする「対テロ行動計画」に反対します。その真の目的は、帝国主義的な侵略戦争や軍事介入を行うことで、全世界の支配を強化しようとするものに他なりません。

私たちは G7 が推進するいわゆる「海上安保」に強く反対します。その真の意図は、中国への軍事的包囲を強化することにあります、私たちはまた朝鮮民主主義人民共和国へ一方的な非難や脅威に反対し、北朝鮮問題は平和的な対話を通じて解決されねばなりません。

私たちは G7 が掲げる経済発展戦略に強く反対します。資本主義の構造的危機に直面するなかで、G7 諸国はただひたすら新自由主義政策を推進し、労働者農民大衆に危機を転化し、労働者農民大衆への搾取の強化をたくらむことで、資本主義が直面する危機を乗り切ろうとしているのです。

私たちは日本の安倍政権が今回の G7 サミットを利用して、その帝国主義のとして役割を強化し、対テロ戦争の名の下に、アジア諸国への直接軍事介入の機会をうがっていることに強く反対します。

私たちは日本の安倍政権が今回の G7 サミットを利用して、天皇制を強化しようとしていることに強く反対します。

私たちは安倍政権が今回の G7 サミットの開催にあたり、対テロの名で、国内の反帝・反新自由主義勢力への弾圧を強化していることに強く反対します。

最後に、私たち労働人権協会のすべての仲間は、現場の第一線に立つ同志たちと共に、心をひとつにし、米日帝国主義の侵略に反対し、新自由主義的支配に反対します！

AWC 台湾（台湾労働人権協会）